

埼玉県議会議員【草加市選出】

がもつ徳明

県議会ニュース

2025. 新年度号

草加市新里町 1422 番地
☎ 048-929-2366県政に関するご意見
ご要望をお寄せください。
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA

南 1 区草加市
県議会議員

蒲生 徳明

新しい年度の始まりにあたり、新たな決意で、 県民、草加市民の生命と財産を守るために 全力を尽くしてまいります!

県民の皆様、そして草加市民の皆様こんにちは。

日頃より、蒲生徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

いよいよ、新しい年度が始まりました。生活現場にも新社会人や、新入生等の姿が見られ、新たな出発の
気概が満ち溢れ、活気に満ちております。私も、日々、新たな気持ちと新たな目標を掲げ、県民そして地
元草加市民の生活現場を守るために活動を開始しております。今回の県政報告は、前号以降（年始から）の議会活動、要望活動、そして日常の現場での活動を含めご報
告をさせていただきます。皆様の、尚一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

【最近の主な活動から】 (前号掲載以降の活動)

1. 知事への緊急要望

八潮の道路陥没事故を受け、県知事へ緊急要望（2025.1.30）
1月28日に八潮市の県道で発生した陥没事故を受け、県庁で
大野元裕知事に対し、一刻も早い人命救助と応急復旧の迅速
化を求める緊急要望書を行いました。

席上、私は事故により関連する12市町に対し、県が下水道
の使用を控えるよう求めていることで県民生活や会社の事業
活動に支障が出始めていることを指摘。

「人命救助が最優先。その上で、県民の生活を守るための応急
復旧にも力を入れてほしい」と求めました。

加えて、下水道の使用制限の具体的な内容の周知や下水道
管の定期点検の実施頻度の見直しなどを要請しました。知事
は「国、自治体と連携を密にし、救助と復旧に全力を挙げる」
と応じました。」



2. 知事への予算要望に対する知事からの経過 報告

2月12日

令和7年度予算編成に対する知事要望に対して、大野知事より経過報告がありました。



※公明党県議団は、2024年
10月16日に大野知事に新年
度の県予算編成に対する要望
書を提出しました。）



3. 議会活動

◆2月定例議会報告

令和6年2月定例会は2月20日から3月27日まで行われました。
※今定例会は、代表質問に私が、一般質問に深谷顕史議員が
登壇しました。

私は、県の防災対策について福祉的視点からの地域防災計
画の見直し、認知症支援、県のこども若者政策、駐車許可の
在り方、県立特別支援学校体育館へのエアコンの設置などに
ついて、深谷県議は、本県の偽情報や誤情報に対するオリジ
ネーター・プロフィールの活用、感染症版FEMAによる対策
などを質問し、それぞれに前向きな答弁がありました。

予算特別委員会総括質疑では、橋詰議員が児童生徒への自
殺予防の取り組みなど、戸野辺議員がスポーツ科学拠点施設
など、活発な質疑を展開し、執行部から推進に向けた答弁を
得ました。新年度予算は、わが団が求めた激甚化・頻発化す
る自然災害への防災・減災対策の強化、福祉・医療・障害者
支援の充実、子育て支援、物価高による価格転嫁などの中小
企業支援など、県民生活に直結する分野に十分な予算が確保
されており、賛成しました。

※代表質問に向けて（県議会広報から）

「新しい埼玉の未来を拓く」

令和7年1月に発生した、
八潮市の道路陥没事故で被害
に遭われたすべての皆さまに
心よりお見舞いを申し上げます。
現場から寄せられた県民
の声を受け止めて、皆さまの
声の実現が新しい埼玉の未来
を拓く鍵であると信じ、代
表質問に臨ませていただきま
す。

まず、新年度予算案の中に、物価高騰対策、防災・減災の強化、



福祉・医療、障害者支援策の充実など、公明党の要望がどう反映されたのかについて伺います。次に、知事が掲げる2つの歴史的課題「人口減少・超少子高齢社会の到来」、「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」は、従来の縦割り行政では対応できません。行政組織について、具体的にどのような体制で対応していくのかを伺います。

さらに、県の防災、危機対応については、住民主体の防災対策とあらゆる人を守るための福祉防災、そして、新たな感染症有事に備えるための、感染症版FEMAの推進について伺います。この他にも、全国で約2万人、本県では825人とされ日常的に人工呼吸器の管理などが必要な「医療的ケア児」とその家族を支援する医療的ケア児等支援センターの全庁支援の在り方、2025年問題の課題でもある認知症支援、本県で障害者雇用の分野から進んでいる「超短時間雇用」の多様な雇用機会の創出について、また、特別支援学校体育館へのエアコン設置についても伺います。

※蒲生徳明の代表質問通告内容（13項目）

- 1 予算案の中に、公明党の要望はどのように反映されたのか（知事）
- 2 知事の県づくりについて（知事）
- 3 県の防災対策について（知事）
 - (1) 埼玉県地域防災計画について
 - (2) 福祉関係者との官民協働について
 - (3) 災害発生時における避難所等の通信確保について
 - (4) 新総合防災情報システム（SOBO-WEB）の利用について
- 4 新たな感染症有事への備えについて（知事）
- 5 流域治水の取組の加速化について（知事）
- 6 「県医療的ケア児等支援センター」への全庁支援の在り方について（知事）
- 7 認知症支援について（知事）
- 8 超短時間雇用の積極的な活用について（知事）
- 9 コンテンツ産業の支援について（知事）
- 10 県のこども若者政策について（知事）
- 11 駐車許可について（警察本部長）
- 12 県立特別支援学校体育館へのエアコンの設置について（教育長）
- 13 県立特別支援学校での防災の観点を入れた個別の教育支援計画と避難訓練について（教育長）

4. 日常の議員活動等

◆県議会議員としての活動、会合等への参加など（前回号後）

2025年1月2日

「新春街頭」（草加駅東口）を行いました。



1月7日

「埼玉県新年賀詞交換会」：議員サロン



1月9日

「令和7年草加市賀詞交歓会」（アコスホール）に参加。



「埼玉県社会保険労務士会新年賀詞交歓会」に参加。（ホテルブリランテ 武蔵野）



1月11日

「韓国民団埼玉県本部新年会」に参加。

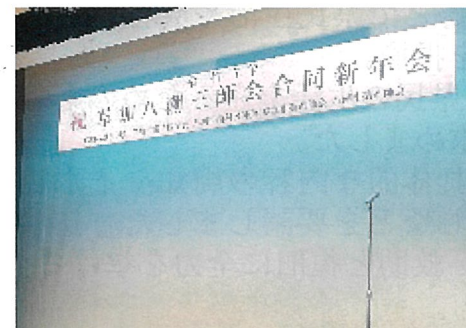
（大韓民国民団埼玉県地方本部）



「草加市ニューイヤーわっぱ祭り」に参加。（草加市文化会館）



「草加八潮三師会合同新年会」に参加。挨拶（アコスホール）



1月13日

「成人の日街頭」を行いました。（獨協大学前駅西口）



1月14日

「鈴木喜美子画伯絵画展」を鑑賞：埼玉県立近代美術館（鈴木画伯と）



1月19日

「埼玉行政書士会新年賀詞交歓会」に参加。（ロイヤルパインズホテル浦和）



「草加市新里町会新年賀詞交歓会」に参加。（草加市ふれあいの里）



「草加市青柳川柳ブロック
新年会」に参加。(一栄)



「埼玉県本部新年賀詞交歓会」
に参加。(ロイヤルパインズホ
テル浦和)



1月22日
「埼玉部落解放同盟」片岡会長と意見交換。(県議会控室)

1月24日
「埼玉県トラック協会草加支部新年会」に参加。(浅草ビュー
ホテル)



1月25日
「柔道整復師会草加八潮地区」
新春の集いに参加。
(江戸一 草加館)



1月28日
「公益社団法人埼玉県宅地建物
取引業協会埼玉東支部新年会」
に参加 (アコスホール)



1月30日
「自然再生・循環型社会
特別委員会視察」



1月31日
「草加八潮工業会創立60周年
記念式典」に参加。
(アコスホール)



2月1日
「埼玉県医師会新年会」に参加。(パレスホテル大宮)



2月2日
「柳島町会新年会」に参加。(江戸一 草加館)



2月3日
「埼玉生協連」との意見交換を
行いました。(県議会控室)



2月10日
「地下鉄8号線建設促進に係る知事要望」に参加。
(埼玉県知事公館)



2月23日
「ふれあいの里祭り」に参加
(草加市 ふれあいの里)



「SOKA レザーフェスタ 2025」
に参加。(草加市文化会館)



2月24日
「東武エリア宅建セミナー」に参加 (草加市文化会館)



3月12日
「清水秀逸氏 藍綬褒章受章
祝賀会」に参加。(パレスホ
テル大宮)



3月15日
「内藤一夫氏瑞宝単光章受賞
祝賀会」に参加。
(ロイヤルパインズホテル浦和)



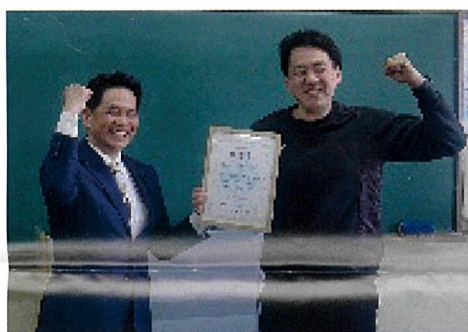
3月17日
「草加商工会議所通常議員総
会」(アコスホール)



3月20日
「福祉祭りイン草加」に参加。挨拶 (中央公民館)



「草加市トランポリン協会総会」に参加。挨拶と表彰 (草加市立勤労
福祉会館)



3月30日
「芭蕉庵祭り」に参加。



5. 雑誌掲載の討論会に参加

(2024年1月21日に収録)

◆ (公社) 埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部広報誌の討
論会へ参加しました。

第33号 令和7年3月「輝」に掲載されました。



6. 公明新聞に掲載された県議団の活動記事

仮想空間に居場所提供 (2025/2/14 公明新聞記事から一部転載)



交流会や個別相談実施、2025年10月から本格運用めざす
～小学生から20代前半まで対象～

子どもや若者世代の居場所づくりの一環で、埼玉県は仮想空間(メタバース)を活用して交流や体験、各種相談窓口につなげることができる「埼玉県バーチャルユースセンター」を開設し、2025年10月の本格運用めざして試験運用している。用意された交流ルームで、クイズ大会やディスカッションなど、気軽に参加できるイベントを週2～4回の頻度で開催。参加者は、文字チャットや拍手などのリアクション機能で、アバターを介してコミュニケーションを取る。

若者世代の居場所づくりに向けては、公明党埼玉県議団(蒲生徳明団長)が一貫して推進してきた。蒲生団長が2024年2月定例会で若者の交流場所の設置を提案し、萩原一寿議員が同年6月定例会で若い世代の孤独・孤立対策について質問。さらに、小早川一博議員が同年9月定例会で若者の居場所となる地域づくりを訴え、県議団として大野元裕知事へ提出した毎年の予算要望書に盛り込んでいた。

7. 最近の実績等

1. 「八潮道路陥没事故について、生活被害を受けたと考えられる住民の方々への生活保障の問題で葛西衆議院議員と連携を取り、現場の方々が困っている生の声をお伝えし、衆議院予算委員会で取り上げて頂きました。

その結果、今回の道路陥没事故によって、休業や事業縮小を余儀なくされた事業者が、コロナ時に支給された「雇用調整助成金」の対象になり得る」との答弁を福岡厚労大臣より引き出しました。

2. 又、公明党「新たな防災・減災復興政策検討委員会」と同「国土交通部会」の合同会議に、地元議員の代表として、オンラインで参加。事故に伴う自治体への財政支援や、下水道の使用自粛呼びかけられている点を踏まえて、飲食店などへの休業補償を訴えさせて頂きました。

(関連記事：公明新聞より)

